

次回の勉強会は

11月11日(水)9:30~11:30

(オーテピア4階集会室　申込み・参加費は不要)

10月 ストーリーテリング勉強会 の 記録

2026年10月14日(水) 9:30~11:30
主催:オーテピア高知図書館　参加者:7人
場所:オーテピア　4階集会室

同じ話であっても、自分で読んだ時と、ひとが語るのを聞いた時の感じ方は違うという話題が上がりました。また、河童と聞いておどろおどろしいのを想像していたが、声が可愛いので小さな子どものカッパになったという感想がありました。語りで伝わるものは大きいですね。

今月のおはなし

1 お月さまの話 6分半
『おはなしのろうそく 25』
(東京子ども図書館／編 東京子ども図書館)より
【語り手から】
お月さまを見てみたい気持ちに聞き手になってもらえれば嬉しいです。
そのようになるよう練習していきたいです。

2 北斗七星 3~4分
『おはなしのろうそく 25』
(東京子ども図書館／編 東京子ども図書館)より
【語り手から】
又、研鑽します。

3 カッパと瓜 15分
『おはなしのろうそく 31』
(東京子ども図書館／編 東京子ども図書館)より
【語り手から】
このおはなしの楽しさを届けるには気楽さも大切というアドバイスをいただきました。語りこんでもう一度、子どもたちにも語ってみたいと思いました。

4 ひねくれもののエイトジョン 4分
『おはなしのろうそく 33』
(東京子ども図書館／編 東京子ども図書館)より
【語り手から】
「読む」と「聞く」と「語る」は全く違うなぁと感じました。
さらさらとリズムよく語りたい。勉強を続けます。

5 ネギをうえた人 7分半
『ネギをうえた人 朝鮮民話選』
(金 素雲／編 岩波書店)より
【語り手から】
「読む」と「聞く」の話の伝わり方を感じることのできる勉強会になりました。

☆おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。

オーテピア高知図書館　2026年10月27日